

ポイントまで徒歩30秒の定宿

車中泊するケースが多いアユ釣りファン。でもそのために車内を改造するのも面倒だし、不自然な姿勢で寝ていては、翌日、流れに立ち込むのはしんどい。そんな悩みを持つアナタ、こんなテントがあったの、知ってた!?

「今年の〇川のソ上、すごいらしい」
「アノ川で、ポツポツ尺アユが出ているってサ」

熱心なアユ釣りファンであれば、耳に届く危険な誘いにはついつい乗ってしまうもの。だがいくら釣れるからといって、遠征を繰り返してはホテル代を捻出するのも難しい。かといって車中泊では、内部をしっかりと改造しない限り凹凸ができてしまい、なかなか疲れも取れない。

そんな悩みを解決するモノが、一部アユ釣りファンの間で重宝がられているらしい。それがこの車の上にセットするテント「コロンプス」である。

「だったらテントでいいじゃん」
そう思う人もいるだろう。だが想像してほしい。石だらけの川原を整地する手間、大雨の中でうっむいてベグを打つ悲惨さを。

「コロンプス」の優れている点は、車を停めたらワンタッチ、わずか数十秒で快適な寝床ができるという手軽さだ。何しろ車の上に乗っているのだから、駐車スペース

えあればどこでも寝られる。実際に目にする前には、「足を曲げて寝るのはいやだなあ……」と思っていた身長180cmの僕も、中に入ってみてその広い空間には驚いた。思ったよりも高さがあるので、圧迫感もない。

とりあえず使い方を説明すると、まず付属品のはしごを掛け、テント後部にある金具を外して上部のカバーを押し上げる。たったこれだけ。仕舞う時には上部カバーに付けられたロープを引っ張り、はみ出たテントの生地を中に入れ、金具を止めればOK。簡単過ぎて書くネタがないのが辛いほどだ。

入り口には防虫ネットが装備され、開口部は3つもある。どれも大きめなので風通しもよく、真夏でも暑苦しい思いをしなくて済む。室内はマットが敷かれフカフカ。川のせせらぎを聞きつつ眠りに就き、目覚めてすぐにサオをだす。釣り人にとっては、どんな高級ホテルよりも贅沢な時間が過せるのだ。

もちろん、これだけ便利なグッ

ズなのだから、使えるシーンはいろいろありそう。溪流解禁日の場所取り、長距離ドライブで休憩時の仮眠、家族とのキャンプ……。ん？ 家族と？ そう。この「コロンプス」はサイズも豊富で、ファミリータイプを選べばその広さは縦215cm、横160cm、展開時の高さ150cmにもなるのだ。これだけあれば、3人で川の字になることも可能。さらに驚くべきことに、ベランダなどのオプションもあるのだとか。そこまでいくと、十分に住めそうな勢い。というか、僕のアパートより快適かも……。

(真野)



ZIFER コロンプス

写真のモデルはコロンプス・カップル（サイズ＝縦210cm×横130×展開時高さ150cm／重量＝約43kg）。ほかにもミディアム（サイズ＝縦210cm×横145×展開時高さ150cm／重量＝約49kg）、ファミリー（サイズ＝縦215cm×横160×展開時高さ150cm／重量＝約57kg）などがある。形状の異なるタイプもあり、ベランダなどオプションも豊富。価格は、カップル＝約4万円、ミディアム＝約4.5万円、ファミリー＝約5万円。ZIFERのホームページ（http://www.zifer.co.jp/）で詳しく確認してください。